お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止	**器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）
禁止	**器具を布や紙などで覆わない。**（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）	禁止	**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）	禁止	**LEDの光を直視しない。**（長時間直視すると目を痛める原因）
禁止	**器具の真下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）	厳守	**明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。**

- **照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。**
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

器具の清掃

⚠警告　**電源スイッチを切ってから行う**（感電の原因）

＜器具のお手入れについて＞
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

＜カバーのお手入れについて＞
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

■防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検をおすすめします。

知っておいていただきたいこと

○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

使用に関するご注意

■LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
■LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
■壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
■器具ごとに壁面照射部の色味が異なる場合があります。ご了承ください。

保証について

■無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
※ 詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社　☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

E769Z696G01　E769Z696H50

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱 LED 照明器具

LED スポットライト(防雨形)

形名　EL-S0400L EL-S0401L

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**壁取付専用器具であるため、天井・傾斜天井などに取付けない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止	**器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
禁止	**不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止	**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
禁止	**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。**

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**高温(35℃を超える)、粉じん、強い振動、衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）	禁止	**表示された電源電圧以外では使わない。**（火災・感電の原因）
禁止	**さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）	禁止	**狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）
禁止	**風呂場など湿気の多い場所(85%RHを超える)で使わない。**（火災・感電の原因）	厳守	**調光器との併用をしない。**（器具が過熱して火災の原因）
禁止	**軒下などの屋側以外の屋外で使用しない。**（浸水による感電の原因）	厳守	**風の強い場所で使わない。**（落下の原因）
禁止	**海岸の近くなど、塩害の恐れのある地域で使用しない。**（早期にさび、腐食が生じ、落下によるけが・感電・故障の原因）		

お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。
光学特性などに不具合が発生することがあります。

定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
AC100V	50/60Hz	0.17A	8.9W

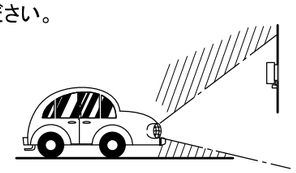
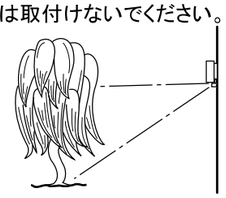
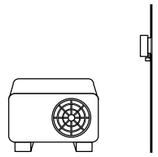
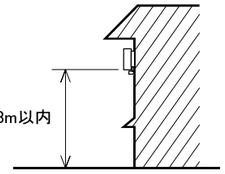
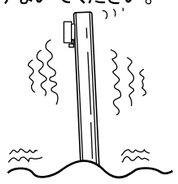
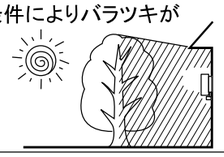
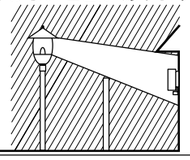
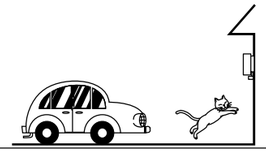
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■器具を取付ける前に

1 器具質量(約1.6kg)に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
  誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。 	取付高さが3mを超える場所には取付けないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。 
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。 

- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。

3 器具と他の光源(負荷連動する器具も含む)は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合、器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する

6 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

7 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

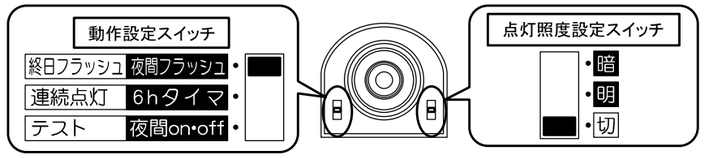
＜ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合＞

壁スイッチの使用は4個(5路配線)までとしてください。
壁スイッチを5個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

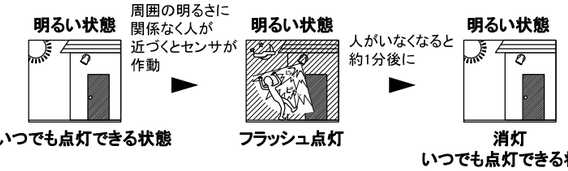
＜パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合＞

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

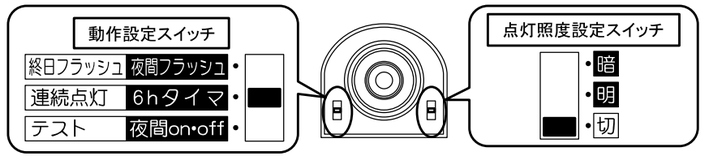
終日フラッシュモード



明るくても暗くても人が来た時だけフラッシュ点灯

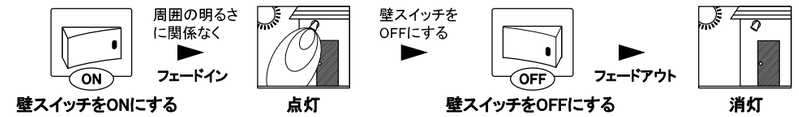


連続点灯モード



フェードイン・・・・徐々に明るくなり、約100%で点灯
フェードアウト・・ 徐々に暗くなり、消灯

センサに関係なく壁スイッチの操作で連続点灯

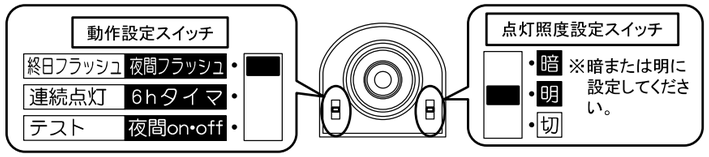


※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)

※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

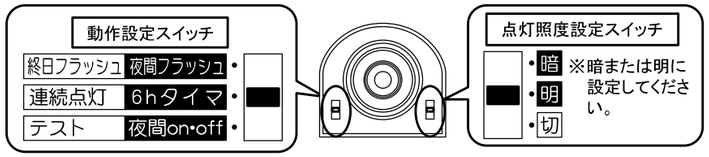
■センサの設定
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。

夜間フラッシュモード



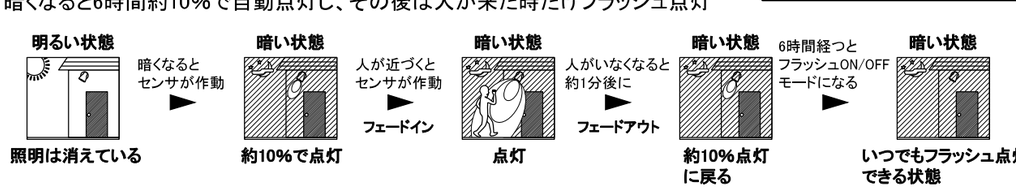
暗くなって人が来た時だけフラッシュ点灯

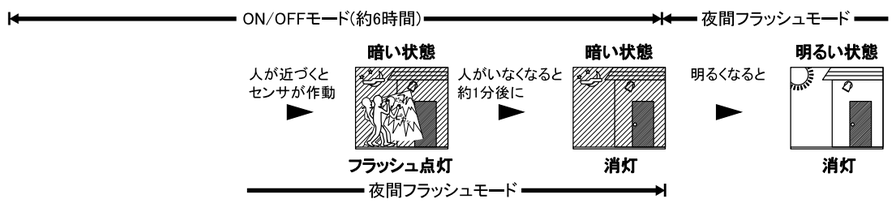
6時間タイマーモード



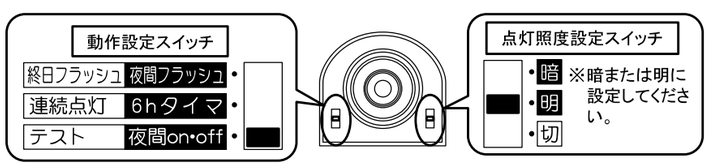
フェードイン・・・・徐々に明るくなり、約100%で点灯または約10%で点灯
フェードアウト・・徐々に暗くなり、約10%で点灯または消灯

暗くなると6時間約10%で自動点灯し、その後は人が来た時だけフラッシュ点灯





夜間オンオフモード



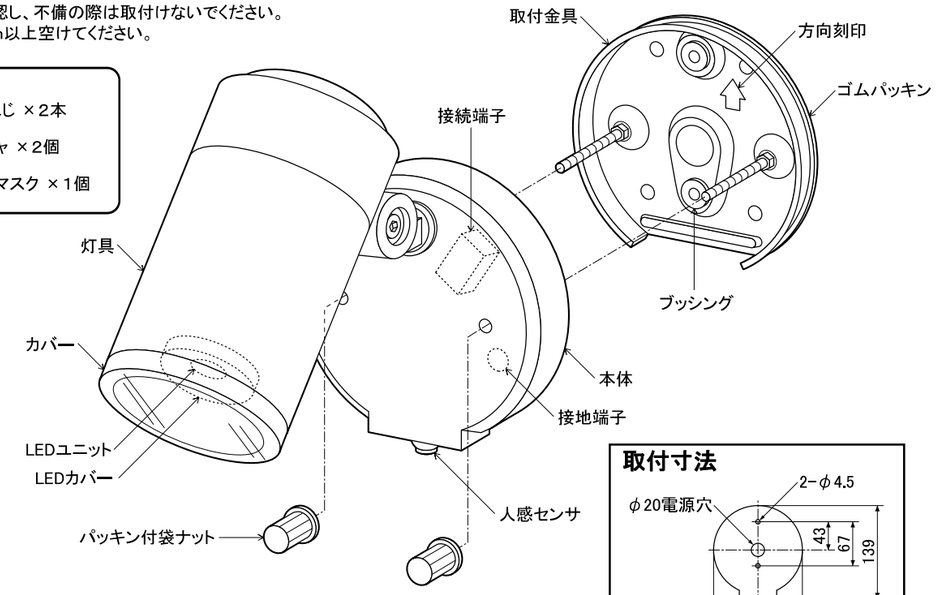
フェードイン・・・・徐々に明るくなり、約100%で点灯
フェードアウト・・徐々に暗くなり、消灯

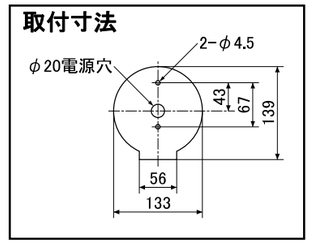
暗くなって人が来た時だけ約100%で点灯

■各部のなまえと取付けかた ⚠注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。
※天井と器具上部は15cm以上空けてください。

付属品
- 取付ねじ ×2本
- ワッシャ ×2個
- エリアマスク ×1個

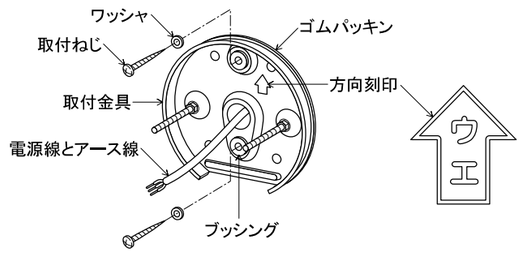




1 取付金具を取付ける
ゴムパッキン、取付金具に電源線とアース線を通し、方向刻印の指示に従って、付属のワッシャ、取付ねじで取付ける。

⚠警告
方向刻印に従って取付ける。
(火災・感電の原因)

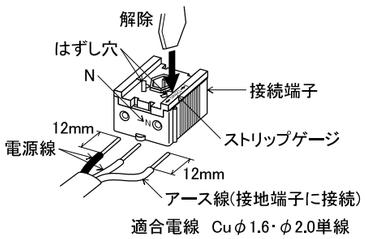
⚠警告
ゴムパッキン外周より大きな、背面より水のかからない平滑面に取付ける。
ゴムパッキンと取付面の間をコーキングする。
(指定外取付けは、浸水による感電の原因)



2 電源線とアース線を接続する
(1)電源線とアース線の被覆をむく。(12mm)
(2)電源線を接続端子に確実に差し込む。
(3)アース線を接地端子に圧着端子を用いて接続する。

⚠警告
接続が不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因

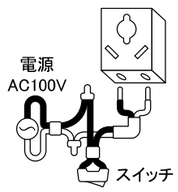
○外す時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。



適合電線 Cuφ1.6・φ2.0単線

⚠警告
電気設備技術基準に準じてD種(第三種)接地工事を行なう。
(接地工事が不完全な場合、感電の原因)

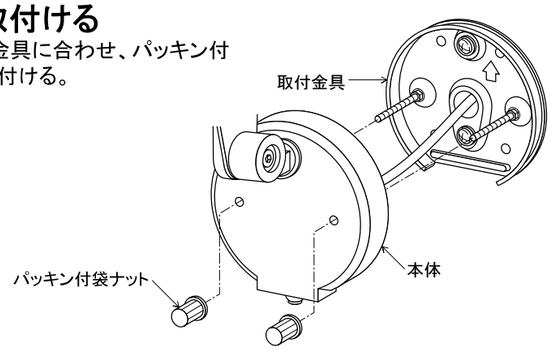
⚠警告
電源の接続は確実に行なう。
(接続が不完全な場合、火災・感電の原因)

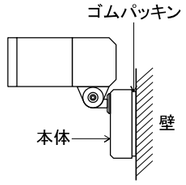


○電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。
注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

3 本体を取付ける

本体を取付金具に合わせ、パッキン付袋ナットで取付ける。





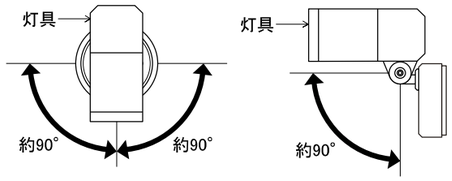
本体が取付いた状態
※壁と本体の間にすき間が発生します。

4 点灯の確認を行なう

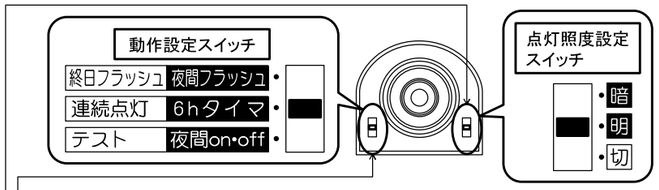
■照射方向の調節について

● 照射方向を調節する場合は、灯具を持って行なってください。
指定範囲以上、無理に動かさないでください。

⚠注意
灯具と本体のすき間に指を入れない。
(けがの原因)



■センサの内容



動作設定スイッチ	テスト / 夜間on・off			連続点灯 / 6hタイマ			終日フラッシュ / 夜間フラッシュ		
点灯照度設定スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	テストモード	夜間on・offモード 約45ℓxで点灯できる状態	夜間on・offモード 約15ℓxで点灯できる状態	連続点灯モード	6時間タイマーモード 約45ℓxで点灯	6時間タイマーモード 約15ℓxで点灯	終日フラッシュモード	夜間フラッシュモード 約45ℓxで点灯できる状態	夜間フラッシュモード 約15ℓxで点灯できる状態

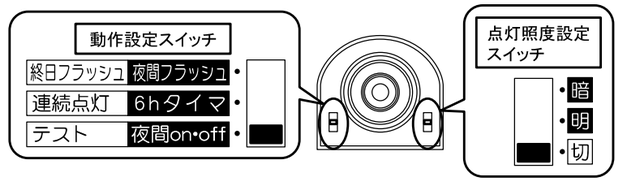
※センサが感知すると、約1分間点灯します。(テストモード・連続点灯モードを除く。)
点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。
※スイッチの設定を変更した場合、壁スイッチを一旦5秒以上OFFにしてからONにしてください。
誤作動する場合があります。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

テストモード

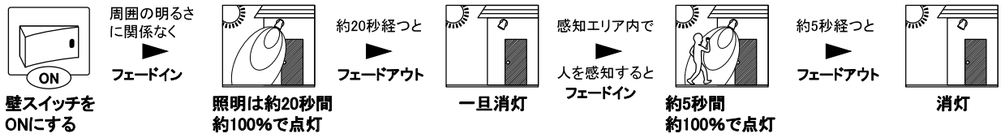
下図のように点灯照度設定スイッチを「**切**」に、動作設定スイッチを「**テスト**」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



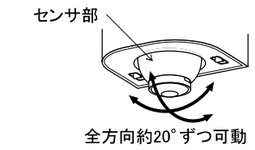
フェードイン・・・・徐々に明るくなり、約100%で点灯
フェードアウト・・ 徐々に暗くなり、消灯

① 電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。
結線および負荷の作動を確認できます。

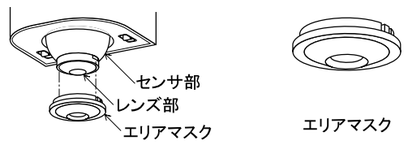
② 明るい時(昼間)でも人を感知するごとに約5秒間点灯します。
※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



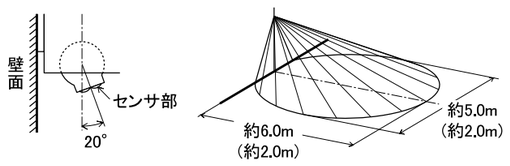
● センサを動かして感知エリアを調整できます。
※調整範囲以上無理に動かさないでください。



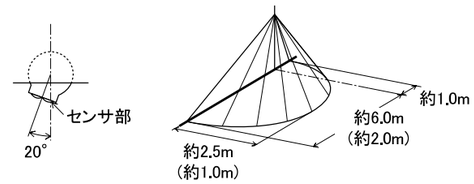
● エリアマスクで感知エリアをせまくできます。
エリアマスクの凸部をセンサの凹部に“カチッ”と音がするまではめ込んでください。



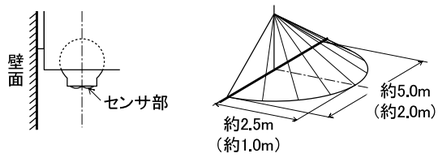
● 前方へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



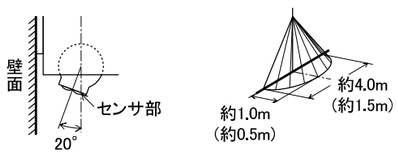
● 横方向へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



● 可動角度0°の場合＜高さ 2.0m＞



● 手前(器具側)へ20°可動させた場合＜高さ 2.0m＞



※( )内はエリアマスク使用時
※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。
※エリア確認後は必ず■センサの設定を行なってください。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、取扱説明書に記載されている連絡先にご相談ください。

●センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
●正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして(５秒以上)再びONにしてください。
●壁スイッチは、通常は必ず昼間でもONのままにしておいてください。

現　象	考えられる原因	処　置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定スイッチで設定した明るさよりも周囲が明るい	**点灯照度設定**スイッチを「**明**」にする
	センサに光が入っている	光源を取り除く
	人が静止しているか動きが小さい	静止しているか動きが小さい状態では感知できません
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている	センサを柔らかい布で傷がつかないようふきとる
	感知エリアが適切ではない または、センサに向かって歩いている	感知エリアを調節する (説明書の■**感知エリアの設定**をご確認ください)センサに向かっての動作は感知しにくくなります
	エリアマスクを付けている	エリアマスクをはずす
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります (故障ではありません)
	雨の日に傘で顔や手が隠れている	
	暑い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	
感知エリアに人がいないのに点灯している	感知エリア内に人以外の熱源がある （例）白熱灯照明器具 エアコンなどの室外機 風などでよく揺れるもの （植木、旗など） 犬や猫などの動物 車の熱やヘッドライト 強い風、雨、雷 ストーブなどの暖房器具	感知エリア内の熱源を取り除く 本センサは温度変化を感知するため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります （故障ではありません）
	感知エリアが適切ではない	感知エリアを調節する (説明書の■**感知エリアの設定**をご確認ください)
	エリアマスクが付いていない	エリアマスクを付ける
	壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後	壁スイッチON後、約20秒間は点灯します(故障ではありません)
	センサの設定が**連続点灯モード**になっている	センサの設定を変更する (説明書の■**センサの設定**をご確認ください)

現　象	考えられる原因	処　置
人がいなくなってもなかなか消灯しない	感知エリア内で人以外の熱源を感知し点灯時間が延長されている	感知エリアを調節する (説明書の■**感知エリアの設定**をご確認ください)
	センサの設定が**6時間タイマーモード**になっていて設定した時間が経過していない	センサの設定を変更する (説明書の■**センサの設定**をご確認ください)
	センサの設定が**連続点灯モード**になっている	
周囲が暗くなっても人を感知して点灯しない (消灯状態である)	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定スイッチで設定した明るさよりも周囲が明るい	器具の設置場所を明るくしている原因を取り除く
		点灯照度設定スイッチを「**明**」にする
周囲が明るいのに人を感知している または人がいないのに点灯している	**点灯照度設定**スイッチが「**明**」または「**切**」になっている	**点灯照度設定**スイッチを「**暗**」にする
	器具の設置場所が暗い (昼間でも暗い)	器具の設置場所を暗くしている原因を取り除く **6時間タイマーモード**でご使用の場合、昼間でも周囲が暗い時や雨や曇りなどで周囲が暗くなった時は、まれにセンサが夜と勘違いして点灯させることがあります 壁スイッチをOFFにして5秒以上たってからONにしてください
	何らかの要因により周囲が暗い状態になった	
	センサを傘や手などで覆ってしまった	
人を感知して点灯するがすぐに消灯する	センサの設定が**テストモード**になっている	センサの設定を変更する (説明書の■**センサの設定**をご確認ください)
	壁スイッチをONにした後、約60秒以内である	壁スイッチON後、約20秒間点灯し、その後、約40秒間は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します(故障ではありません) 壁スイッチONから約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります (連続点灯モードを除く)
フラッシュ点灯させたいのにフラッシュ点灯しない	人が近づいても自動点灯しかしない場合→**夜間オンオフモード**、**6時間タイマーモード**または**テストモード**になっている **動作設定**スイッチが「**夜間on・off**」「**6hタイマ**」になっている	**夜間フラッシュモード**または**終日フラッシュモード**に設定する
	6時間タイマーモードで、設定時刻を過ぎてもフラッシュ点灯しない場合→人が静止している、または検知範囲内をすばやく通り過ぎた	人が静止していたり、検知範囲内をすばやく通り過ぎた場合には、設定時間を過ぎてもフラッシュ点灯しません
フラッシュ点灯させたくないのにフラッシュ点灯してしまう	**夜間フラッシュモード**、**終日フラッシュモード**または**6時間タイマーモード**になっている **動作設定**スイッチが「**夜間on・off**」「**連続点灯**」以外になっている	●人が近づいてもすぐにフラッシュ点灯させたくない場合→**6時間タイマーモード**に設定する ●人が近づいた時にフラッシュ点灯ではなく自動点灯させたい場合→**夜間on・offモード**に設定する